

# 発 言 通 告 書 総 括 表

平成22年 第1回 定例会 代表質問

	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1	鳥海議員 (自民)	1、厳しい経済状況と今後の区財政について  2、次世代育成施策(幼児教育のあり方について)  3、今後の障害者施策について  4、国民健康保険制度について  5、まちみらい千代田のあり方について	特別区民税が大幅に減少するなか、今後の財政運営についての展望を区長に問う。  児童数が減少する幼稚園の現状にたいする認識と今後の幼児教育のあり方について教育委員会に問う。  「えみふる」や「ジョブサポートプラザちよだ」の現状についてや、今後の障害者福祉サービスの方向性について区長に問う。  特別区国民健康保険の統一保険料方式と23年度からの保険料賦課方式の変更について区長に問う。  区における検討状況について区長に問う。	区長並びに関係理事者
2	飯島議員 (共産)	【 】景気の低迷について  【 】雇用の安定について  【 】区民の安心のために 1)安心できる待機児ゼロについて  2)特養ホームの待機者ゼロにむけて  3)医療費負担軽減について	雇用と社会保障の破壊は景気の低迷を長引かせている。これを改善することなくして、国民の不安を小さくすることは出来ない。区長の見解を問う。  区自らが、不安定雇用比率の低下に努力すべき。正規職員の採用計画について問う。  待機児ゼロは働く保護者にとって心強い施策だが・・・ 保育園の設置基準の規制緩和が提案されている。 区は保育環境向上の観点をもって待機児ゼロの実現を。 学童クラブの職員の雇用安定について  高齢者のみ世帯が多い中で、介護の状況は深刻。特養ホーム待機者ゼロにむけた施設増設計画が必要。  医療制度改悪で、保険外窓口負担が多くなっているなかで、自治体でできる二つのことを求める 18才までの医療費無料化 75才以上の医療費無料化	区長ならびに関係理事者

	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を求める者
3	大串議員 (公明)	「地域包括ケアシステム」の構築を目指して！	<p>1) 「地域包括ケアシステム」の構築へ確かな道筋を示すべき。区長に基本的な考え方を問う。</p> <p>2) 安心センター(地域包括支援センター)の役割を明確にすべき、そこで改めてその役割を問う。</p> <p>3) 基盤としての地域ケアネットワークを構築すべきだが、その方法は。</p> <p>4) 包括的かつ継続的なケアプランを作成するため仮称「地域ケア会議」の設置を提案する。所見は。</p>	区長並びに関係理事者